

# はじめにお読みください

## PRIMEQUEST 2000 シリーズ本体ファームウェアアップデートの適用について

2017 年 4 月  
富士通株式会社

### 1 本文書について

本文書は PRIMEQUEST 2000 シリーズ本体ファームウェアアップデートの適用について述べます。  
本体ファームウェアは以下の 3 種で構成されます。

- ・BIOS ファームウェア
- ・BMC ファームウェア
- ・MMB ファームウェア

### 2 アップデート対象機種

下記表は PRIMEQUEST2000 シリーズのモデル名とアップデートで適用するファームウェアの版数です。Web-UI を使って 3 種のファームウェアを一括してアップデートします。

PRIMEQUEST 2000 シリーズ モデル名	ファームウェア版数 (アップデート後)
2400S3 Lite	BC17031
2400S3	
2400E3	
2400L3	
2800E3	
2800L3	

### 3 必要部材

ファームウェアアップデートのため以下の部材が必要です。

- ・手順書  
PRIMEQUEST2000 ファームウェアアップデート手順書.pdf
- ・ファームウェアファイル  
PRIMEQUEST\_BC17031.tar.gz

#### 4 修正内容

提供時期	ファームウェア版数	修正内容
2017/4	BC17031	<p>64GB DIMM マルチベンダ対応</p> <p>DIMM 図番表示のマルチベンダ対応</p> <p>MMB 間通信において遅延が発生した場合にログを収集できるよう、ログ収集機能を改善</p> <p>Online ファームアップ中に全パーティションを Power Off した際、BMC または BIOS のファームアップが完了していない場合、Online ファームアップ後のパーティション Power ON が失敗してしまう問題の修正</p> <p>OS が RTC(Real Time Clock)のタイムゾーンを UTC として使用している場合、SB 交換後に OS の時刻が 9 時間ずれてしまう問題の修正</p> <p>【拡張パーティション機能に関する修正内容】            拡張パーティション環境で、運用に影響ないが、OS 起動時に "microcode: CPUx update to revision 0xX failed" が記録されることがある問題の修正</p> <p>拡張パーティション環境で、SVIM を使って OS インストールする際、12.16.10 版以降の版数を使うと BSoD が発生してしまう場合がある問題の修正。</p>
2017/1	BC16112	<p>VMware 6.5 サポート</p> <p>128GB LRDIMM サポート</p> <p>64GB DDR4-2400 サポート</p> <p>Emulex 製ドライバユーティリティ(RT11.1)サポート</p> <p>インテル製 CPU のマイクロコードをアップデート</p> <p>デバイス初期化処理中にハードリセット(MMB Web-UI からのリセット操作など)を実施すると、該当パーティションが停止したままとなり、その後、該当パーティションの電源制御が出来なくなる場合がある問題の修正。</p>

提供時期	ファームウェア版数	修正内容
2016/10	BC16084	<p>パーティションの Power On 中や POST 中に、FAN 回転数が一時的に高回転になってしまう場合がある問題の修正</p> <p>FANM が故障した際、該当 FANM の図番が正しく表示されない問題の修正</p> <p>MMB1 重化構成において、MMB 交換作業を行った際にエラーを誤検出しないよう処理を改善</p> <p>SEL ダウンロード機能により収集された RAID 関連のログにおいて、sense key 情報が正しくログされない問題の修正</p> <p>【拡張パーティション機能に関する修正内容】 PCI_Box に搭載された FC カードを拡張パーティションに割り当てた構成において、該当 FC カードで lane degrade が発生してしまう場合がある問題の修正</p> <p>FC カードを搭載した拡張パーティションにおいて、添付ソフト(SVIM)を使用して OS インストールしようとする、BSoD が発生してしまう場合がある問題の修正。</p> <p>PCI_Box に搭載された FC カードを拡張パーティションに割り当てて SAN ブート環境を構築し、OS reboot を行った場合、OS reboot が完了しない場合がある問題の修正</p> <p>拡張パーティション機能を有効にした環境で SB 故障により SB 縮退予約が発生し、運用を継続した場合、拡張パーティションに割り当てられるメモリ容量が正しく表示されない問題の修正</p> <p>【その他の更新内容】 (制限・留意事項一覧を確認して下さい※1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- I. 4. (3) Dynamic Reconfiguration を有効にした場合、sadump のダンプ実施中に表示するプログレスバーの進みが 0%から 99%に更新されることがあります。 このとき、実際のダンプ進捗とプログレスバーの進みが一致しません。</li> <li>- II. 2. (2) ファームアップ実施中に他画面に遷移した場合にファームアップに失敗します。</li> <li>- II. 2. (3) オンラインファームアップ実施後、現在稼働中のファームウェアから更新後のファームウェアへの切り替え処理を行っている最中に該パーティションの起動を実施した場合、OS が起動されないことがあります。</li> </ul>

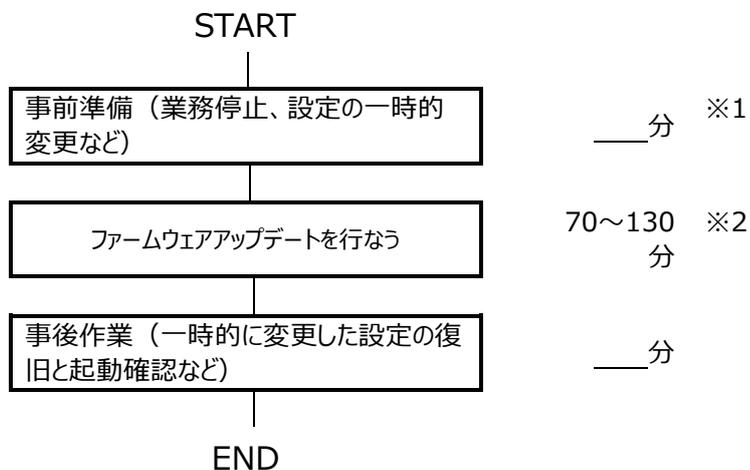
提供時期	ファームウェア版数	修正内容
2016/7	BC16063	<p>パーティションの Power On 中や POST 中に、FAN 回転数が一時的に高回転になってしまう場合がある問題の修正</p> <p>メモリ拡張ボードに搭載した DIMM が全て故障した際、パーティションがダウンした後、パーティションが起動できない場合がある問題の修正</p> <p>CPU の Core#18~23 が異常となった場合、MMB Web UI 上で SB の Status が異常として表示されない問題の修正</p> <p>【拡張パーティション機能に関する修正内容】 2SB、4IOU のパーティション上で拡張パーティションを 8 個作成し、全拡張パーティションで同時に OS Shutdown を行うと、余分な"OS Shutdown"の SEL が出力されてしまう場合がある問題の修正</p>
2016/6	BC16055	初版提供

- ※1 : 製品に添付されている PRIMEQUEST 2000 Series 制限・留意事項一覧(CA92344-1130)に記載されている項目番号に対応します。  
この対応については、上記の修正内容と同じ内容を含む場合があります。

## 5 作業の流れと実施時間

以下のフローチャートは作業の流れの概略と実施時間です。

ここでは事前準備(業務停止と設定変更など)、および、事後作業(復旧と起動確認など)の所要時間を記載していません。お使いのシステム毎に必要な所要時間を考慮の上、作業時間をお見積り下さい。



※1： ファームウェアアップデートのための事前準備項目はファームウェアアップデート手順書を参照してください。

※2： ファームウェアアップデート時間はモデルと装置構成に依存します。詳細はファームウェアアップデート手順書を参照してください。